



しおはま診療所 所長
中城 正夫氏

住民に寄り添った医療を提供

杵築市中心部にほど近い大内地区の国道213号沿いに診療所はある。施設名の由来は所在地の小字である「塩浜」。その名の通り国道の向こうに別府湾を望み、穏やかな中に活気を感じるエリアだ。

昨年11月、杵築中央病院を運営する医療法人恵友会が、県厚生農業協同組合連合会から引き継ぎ、新たなスタートを切った。一帯は、2004年に県厚生連と旧JA杵築市が設けた高齢者複合福祉施

設「いこいの村」。バリアフリー設計の平屋で駐車場、菜園付きの高齢者専用賃貸住宅(52戸)や天然掛け流し温泉、食堂、薬局などが並ぶ。

診療所は、住民への医療提供の拠点で内科、循環器内科の外来診療を行う。また、介護老人保健施設「しおはま」(50床)に隣接。病状が急性期から安定期に移行した入所者の医療ケアに当たる。「老健の施設長にも就いたばかりで、地域医療

の現場を日々勉強中」と苦笑いを浮かべるが、外科でのキャリアがバックボーンになって支える。

姫島村生まれの55歳。国東高校から宮崎大学医学部に進んだ。「姫島は昔、無医村だった時期もあった。医師を志した原点の一つは、その現状を何とかしたいという思いだった」

卒業後、大分医科大学(現大分大学医学部)の第二外科医局に入局。新別府病院、大久保病院、大学付属病院などで救急医療にも携わりながら、呼吸器外科の道へ。20年以上にわたって肺がんの外科

治療に力を注いでいる。日本外科学会外科専門医、日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医。

09年、杵築中央病院へ。高齢化が進む外来、入院患者の診察に当たりながら県内での肺がん治療の後進育成にも取り組む。「杵築では、100歳の方が外来に来られる。高齢者の体力向上に驚くとともに、それを維持する規則正しい生活をサポートするのが自分の務めとも感じている。老健は、自宅へ戻るための準備やリハビリを施す場所でもある。住民に寄り添う医療と介護を提供したい」



住民への医療提供の拠点

病院DATA

●診療科目

内科・循環器内科

●診療時間

月～金／9:00～12:00、14:00～17:00

●休診日

土曜、日曜、祝日、年末年始

医療法人 恵友会
しおはま診療所

杵築市大字大内字塩浜7703番地の4

TEL0978-66-1220

<https://www.kch-shiohama-clinic.com>

